

福島第一原発事故に伴う放射性物質の本県農畜産物への影響

J Aグループ栃木
平成23年12月

本県では、栃木県がJ Aグループ栃木と連携し、放射性物質の県産農畜産物等への影響を把握するため、モニタリング調査を実施しています。

今シーズンのイチゴについては、県内44カ所すべての集荷場において、出荷直前の検査を行い、安全性を確認しています。

米については、県内の全市町を対象に平成23年産米のモニタリング調査を行い、県内の全市町で安全性が確認されました。

麦についても、県内の全市町を対象に平成23年産麦の検査を行い、すべての麦種（二条大麦・小麦・六条大麦・裸麦）において安全性を確認しました。

大豆についても、県内全市町の検査を行い、県内全域で安全性が確認されました。

【県知事から消費者へのメッセージ】

栃木県では引き続きモニタリング調査を継続して行い、その結果は速やかに公表していくこととしています。

安全・安心で、新鮮でおいしい栃木の農畜産物をこれからも応援して下さい!!!